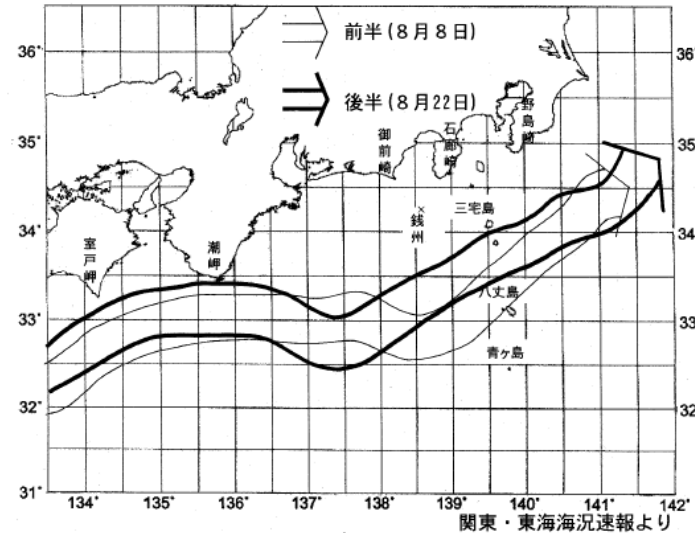


漁海況月報

平成 28 年 8 月 1 日

No. 8 ~8月31日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産技術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



8月定地水温の旬平均値() (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	25.4	26.4	25.8	25.5	25.8	26.8
	0.5	3.2	2.1	0.1	0.7	1.4
中旬	26.3	27.2	26.5	26.3	26.4	26.9
	1.1	3.1	2.2	0.6	0.7	1.2
下旬	26.5	26.9	25.7	26.5	25.5	27.0
	1.5	2.6	1.2	0.6	-0.6	1.4
月	26.1	26.8	26.0	26.1	25.9	26.9
	1.0	2.9	1.8	0.4	0.2	1.3

* 地頭方の水温観測は終了しました。

【黒潮流路】

前半は、N型で遠州灘沖の北緯33°付近を東に進み、八丈島の北側を北東に通過した後、房総半島から離岸して流去した。また、黒潮内測域(北緯34°東経139°付近)には冷水域が見られた。

後半もN型であったが、小蛇行の東進によって8月末には小規模なB型になり、御蔵島~三宅島付近を北東に通過した後、房総半島に接岸して流去した。また、8月末には黒潮内測域の冷水域は拡大した。

【県下沿岸域】

上、中旬は、相模湾側の稲取、下田で「高め」~「極めて高め」、他の観測点では「平年並」~「やや高め」であった。下旬は、稲取で「極めて高め」、他の観測点では「平年並」~「やや高め」であった。

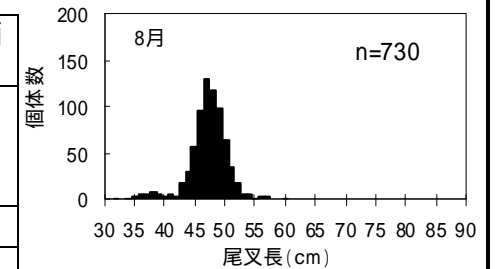
【竿釣カツオ】

8月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオの水揚量は58トンで、前年同期の50%であった。平均単価は600円/kgで前年同期を上回った。

漁場は32~33°N、139~140°Eの青ヶ島や八丈島を中心とした伊豆諸島海域で、魚体の大きさは銘柄「小」(尾叉長47cmモード)が主体であった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
28年8月上旬	22	8	2.8	476
中旬	15	5	3.1	541
下旬	21	10	2.1	779
28年8月計	58	23	2.5	600
27年8月計	117	33	3.6	368
26年8月計	100	45	2.2	464



御前崎港における測定結果

【定量網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は205トンで前年の同漁場の水揚量(231トン)の89%であった。また、1か統あたりの水揚量は、29.2トンで前年(33.0トン)の89%、平年(昭和57~平成27年の平均55.7トン)の52%であった。水揚量の多い漁場は、古網漁場(72.5トン、さば類・マルソウダ・ウルメイワシ)次いで赤沢漁場(30.9トン、カタクチイワシ・マルソウダ・ヤマトカマス)であった。

多獲された魚種の水揚量は以下(表)の通りで、さば類は水揚量70.5トンで前年比69%、平年比49%と、平年の半分以下の低調な漁獲であった。マルソウダは水揚量30.4トンで、前年比2.4倍、平年比1.5倍であった。ヤマトカマスは水揚量19.5トンで前年比1.5倍、平年比1.3倍であった。カタクチイワシは水揚量15.3トンで前年比1.8倍、平年比2.2倍と、平年の倍以上の好調な漁獲であった。ウルメイワシは水揚量14.8トンで前年比7.5倍、平年比3.0倍と、前年・平年を大きく上回る好調な漁獲であった。

また、その他の魚種については、マイワシが水揚量10.6トン(前年50.2トン、平年34.6トン)で前年比21%、平年比31%と大きく下回る低調な漁獲であった。

多獲された魚種の主な漁場は以下(表)の通りで、さば類は古網漁場が42%(29.8トン)、北川漁場が30%(21.0トン)、マルソウダは古網漁場が35%(10.5トン)、赤沢漁場が21%(6.5トン)、ヤマトカマスは古網漁場が28%(5.4トン)、北川漁場が25%(4.8トン)、カタクチイワシは赤沢漁場が59%(9.0トン)、川奈漁場が20%(3.1トン)、ウルメイワシは古網漁場が65%(9.6トン)、伊豆山漁場が29%(4.3トン)を占めた。

*統計数値は表示単位未満を四捨五入しているため、前年比及び平年比の倍率が表示と一致しない場合がある。

(表) 多獲された魚種の漁獲量と主な漁場

魚種	漁獲量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
さば類	70.5	0.7	0.5	古網、北川、川奈
マルソウダ	30.4	2.4	1.4	古網、赤沢、川奈
ヤマトカマス	19.5	1.5	1.3	古網、北川、富戸
カタクチイワシ	15.3	1.8	2.2	赤沢、川奈、古網
ウルメイワシ	14.8	7.5	3.0	古網、伊豆山、谷津

[サバ 棒 受 網]

小川港にはゴマサバが97トン(前年同月比115%)水揚げされ、1隻あたり水揚量は24.3トン(前年同月7.0トン)であった。1kgあたり平均単価は82円で前月(87円)前年同月(169円)を下回った。マサバの水揚げは無かった。

今月は棒受網で操業し、銭洲、大室出し、高瀬に漁場が形成された。漁獲されたゴマサバは尾叉長30cmにモードを持つ2歳魚主体であった。

小川港 さば類(棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻(ト ン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
28年8月上旬		88	1	2		44.0		79	銭洲
中旬									
下旬	-	9	1	2	-	4.7	-	111	大室出し、高瀬
28年8月計	-	97	2	4	-	24.3	-	82	三宅、三本
27年8月計		85	6	12		7.0		169	大室出し、ひょうたん瀬、三宅
26年8月計		223	5	10		22.3		91	銭洲

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[シ ラ ス 船 曳 網]

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾(静岡、吉田)が148kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が260kgであった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量は225kgと前年同期(122kg)の1.8倍、平年同期(過去5か年平均:376kg)の0.6倍と前年同期を上回り、平年同期を下回った。また、総水揚量は279.7トンで前年同期(106.3トン)の2.6倍、平年同期(585.1トン)の0.5倍と、前年同期を上回り、平年同期を下回った。平均単価は857円/kgと、前年同期(893円/kg)を下回り、平年同期(558円/kg)を上回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量 (トン)	延日数	延統数	平均漁獲量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新 居	27.9	9	110	254	806
舞 阪	86.8	9	351	247	921
福 田	65.9	10	263	251	804
御前崎	41.0	12	128	321	787
吉 田	39.7	11	215	185	862
静 岡	18.3	8	176	104	964
平成28年8月計	279.7	59	1243	225	857
平成27年8月計	106.3	43	873	122	893
平成26年8月計	380.1	75	1,605	237	826

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*平年同期:過去5か年(平成23~27年)平均値

[ま き 網]

マイワシの水揚げは、小川港では0.3トンで、前年同期(4.5トン)の7.1%、平年同期(24.4トン)の1.3%であった。沼津港では53.9トンで、前年同期(12.8トン)の421.3%、平年同期(61.7トン)の87.4%であった。静岡港では0.02トンで、前年同期の水揚げは無く、平年同期(0.2トン)の10.3%であった。伊東港では0.2トンで、前年同期の水揚げは無く、平年同期(37.8トン)の0.4%であった。

カタクチイワシの水揚げは、小川港では3.6トン、伊東港では9.4トン、沼津港と静岡港では無かった。伊豆半島東岸大型定置網8か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、見高、谷津)の水揚げは、マイワシが12.0トン、カタクチイワシが18.1トンであった。

*平年同期:過去5か年(平成23年~27年)平均値

[調 査 船 駿 河 丸 の 動 向]

8月1日 ~ 8月3日	地先定線観測調査	(3日間)
8月10日	表層水採水調査	(1日間)
8月19日	県民の日一般公開	(1日間)
8月23日	ドック回航	(1日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

